

株式会社 ITS MORE

2020年4月設立

ITS more

2020年5月27日 投稿者: YSATO@DELEGATE.ORG

私はロボットではありませんので

開発：それで、あれ（Simple Google reCAPTCHA = sgr）がどういう仕組みになっているか覗いてみたのですが、サーバ側の生成するソースをみるとHTML的には単なる sgr-recaptcha というクラス名の div です。これだけ。

```
<div class="sgr-recaptcha"></div>
```



私はロボットではありません
reCAPTCHA
プライバシー・利用規約

開発：その sgr-recaptcha の定義はというと単にこれだけです。

```
.sgr-recaptcha {  
  transform: scale(0.895);  
  transform-origin: 0 0;  
  clear: both;  
  padding: 10px 0 5px 0;  
}
```

開発：ですが、サーバ側（ブラウザ側）で reCAPTCHA のエレメントを覗くと、こんな感じですが、div の中身に iframe の世界が詰められています。

```

▼<div class="sgr-recaptcha">
  ▼<div style="width: 304px; height: 78px;">
    ▼<div>
      ▼<iframe src="https://www.google.com/recaptcha/api2/anchor?
ar=1&k=6LdmjfwUAAAAAN1IJ...
yZ55qcDo0NDM.&hl=ja&v=BT5UwN2jyUJCo7TdbwTYi_58&size=normal&cb=p4vwww
tk23ce" width="304" height="78" role="presentation" name="a-
7nup29aaag3" frameborder="0" scrolling="no" sandbox="allow-forms
allow-popups allow-same-origin allow-scripts allow-top-navigation
allow-modals allow-popups-to-escape-sandbox">
        ▼#document
          <!doctype html>
          ▼<html dir="ltr" lang="ja">
            ▶<head>...</head>
            ▼<body>
              <div id="rc-anchor-alert" class="rc-anchor-alert"></div>
              <input type="hidden" id="recaptcha-token" value=
                "03AGdBq24sRcBm6XwNhi2dtBdr8D4h596ERvPyoomkhUEWES7BVXDYbXbg
                RvqX0ej8cEoLkQJPioX0-
                9XDxZu2r1Buo9VeXrjj20UAeNyrccKR1zwbIXoRLvaQvynsNqyL_hZD8c0l

```

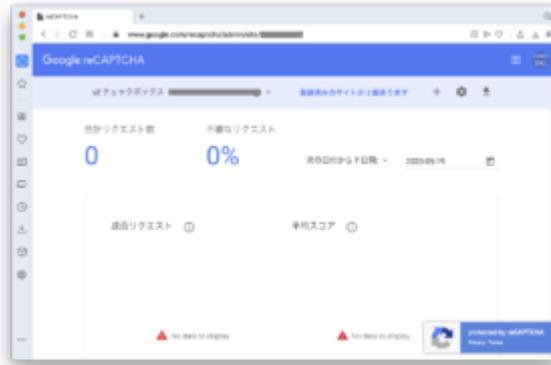
開発：この中に、以下のように取得した「サイトキー」 k=6Ldm ...が含まれてるのが見えます。



開発：それでこのキーは、まあプラグインの設定のインターフェイスからも明らかですが、1プラグインに1つしか設定できません。となると、例えばページごとにキーを変えたいというような使い方ができないことになります。まあ、プラグインを複製すりゃいいっちゃいいんですけど。サイト全域に仕掛けて、ロボット以外が来たら「ヒトが来た！」ってメールをくれるようにするとかもしたいですね。

開発：Google reCAPTCHA にはアクセス解析機能がついているので、これは是非活用したいわけです。こんな感じなんですけど。

▶ 開発：もごもご妄想。



開発：ですので、もし reCAPTCHA 用のWordPressプラグインを自作するとしたら、複数のキーを登録できること、そのうちのどのキーを使うかを埋め込み時に選択できること、が要件かなと思います。

開発：あと、この reCAPTCHA による一種の非ロボット認証は、フォームやログインやら、結局は HTTP のアクションに行き使われるんだと思うんですが、そうすると、この認証を通ったかどうかを行った先で確認しないといけないので、「対応・非対応」ということがおきていると思います。ですがたとえば、認証されてなかったらそもそもその対象を表示しない（HTTPレスポンスの中に生成しない）ということで一元的な reCAPTCHA 適用ができると思います。それぞれ、details の中身を空にするとか。CSSでブロックできるかも。まあ、表示しないと人間にも存在が認識できないとか、逆に表示しないだけで存在はしているので陰湿なロボットはダイレクトにアクセスしてくるだろうとか、不完全です。ならば、URLのパターンとかとセットにして、サーバの根っこに反映させれば良いのではないかと思います。たとえば認証されてなかったらPOSTメソッドを禁止するURLとか。

開発：reCAPTCHA のキーは、それを管理をするサーバ、HTTPサーバが良いと思いますが、それで管理すると良いかもしれません。これならば、コンテンツを管理するサーバとは独立に、鍵を共有管理できます。アクセス対象のURLと、対応するキーのURLを機械的に変換可能にしておけば、いちいち対応づけをする必要もなくなります。

社長：ふーん。それ、ぜんぶまとめて（リバース）プロキシでやればいいんじゃない？

開発：まあ、我が社的にはそういう方向になるでしょうね（笑）

▶ 社長：もごもご妄想。

開発：くわばらくわばら。

—

2020-0527 SatoxITS